

「隣人のものを返す掟」
出エジプト記 20 章 1-2,12-17 節

2022.11.27

●**アウトライン**

1. 盗んではならない
 - ・聖書が語る「盗み」の意味
 - ・他の人のものを奪い損なう「盗み」の罪の範囲
 - ・不正と搾取と奪い合いの世界の中で
2. 神の賜物に満足する
 - ・私たち一人一人には神からの賜物が与えられている。
 - ・「盗み」は隣人に与えられた神の賜物を奪うこと
 - ・「貪欲」という罪
3. 奪うではなく、与える道へ
 - ・「盗んではならない」の積極的な意味
 - ・個人主義と自己責任論の社会の中で
 - ・父なる神とキリストのように、自分のものを分け与える生き方

●**聖書箇所**

【出エジプト記 21 章 16 節、旧約聖書 128 ページ】

「人を誘拐する者は、彼を売った場合も、自分の手もとに置いていた場合も、必ず死刑に処せられる。」

【アモス書 8 章 4-7 節、新約聖書 1439 ページ】

「このことを聞け。貧しい者を踏みつけ／苦しむ農民を押さえつける者たちよ。お前たちは言う。『新月祭はいつ終わるのか、穀物を売りたいものだ。安息日はいつ終わるのか、麦を売り尽くしたいものだ。エファ升は小さくし、分銅は重くし、偽りの天秤を使ってごまかそう。弱い者を金で、貧しい者を靴一足の値で買い取ろう。また、くず麦を売ろう。』主はヤコブの誇りにかけて誓われる。『わたしは、彼らが行ったすべてのことを／いつまでも忘れない。』」

【ヤコブの手紙 5 章 4 節、新約聖書 426 ページ】

「御覧なさい。畑を刈り入れた労働者にあなたがたが支払わなかった賃金が、叫び声をあげています。」

【エフェソの信徒への手紙 4 章 26 節、新約聖書 357 ページ】

「盗みを働いていた者は、今からは盗んではいけません。むしろ、労苦して自分の手で正当な収入を得、困っている人々に分け与えるようにしなさい。」

【マタイによる福音書 7 章 11-12 節、新約聖書 11 ページ】

「このように、あなたがたは悪い者でありながらも、自分の子供には良い物を与えることを知っている。まして、あなたがたの天の父は、求める者に良い物をくださるにちがいない。だから、人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。これこそ律法と預言者である。」

●カテキズムの言葉（聖書の教えの要約）

【ハイデルベルク信仰問答】

問 110 第八戒で、神は何を禁じておられるのですか。

答 神は権威者が罰するような盗みや略奪を禁じておられるのみならず、暴力によって、または不正な重り、物差し、升、商品、貨幣、利息のような合法的な見せかけによって、あるいは神に禁じられている何らかの手段によって、私たちが自分の隣人の財産を自らのものにしようとする、あらゆる邪悪な行為また企てをも、盗みと呼ばれるのです。さらに、あらゆる貪欲や神の賜物の不必要な浪費も禁じておられます。

問 111 それでは、この戒めで、神は何をあなたに命じておられるのですか。

答 わたしが、自分になしうる限り、わたしの隣人の利益を促進し、わたしが人にしてもらいたいと思うことをその人に対しても行い、わたしが誠実に働いて、困窮の中にいる貧しい人々を助けることです。

【子どもと親のカテキズム】

問 77 第八戒で、神さまは私たちに何を求めておられますか。

答 私たちの持ち物は、私たちの体もお金も時間も、すべて神さまからの贈り物です。神さまは、それらを感謝し、ふさわしく管理し、神さまの栄光のために用いることを求めておられます。神さまの贈り物を自分勝手に使ったり、他の人のものを盗んだりしてはいけません。